

20 大東小で  
太鼓演奏の授業



蓑輪さんの指導のもと太鼓をたたく児童たち

大東小学校は、太鼓演奏の授業を行いました。郷土について学習する「くしま学」の一環で、4年生20人が参加。1985年(昭和60年)に大東の胡桃ヶ野地区で結成された「串間くるみ太鼓」の伝統芸能に触れようと、約20年前から実施しており、毎年、児童は約1カ月練習を行い、保護者らの前で披露しています。初日は同太鼓の代表である蓑輪誠治さんが指導し、初めにたたくときの姿勢やバチの握り方などを紹介。その後児童たちは、蓑輪さんの掛け声に合わせながら太鼓をたたき、一生懸命リズムを覚えていました。江藤世成くんは「難しい部分もあったけど楽しかった。本番はみんなで音をそろえて迫力のある演奏をしたい」と意気込んでいました。

21 JAはまゆう果樹部会が完熟きんかん「たまたま」贈呈

宮崎県のブランド果実である完熟きんかん「たまたま」をPRしようと、JAはまゆう果樹部会ハウスキンカン専門部は「たまたま」と、最高級品の「たまたまエクセレント」計5キロを市長に贈呈しました。市役所で行われた贈呈式には、同専門部の西谷辰盛副会長らが出席。試食した市長は「色もよく甘くておいしい」と話しながら、じっくりと味わっていました。西谷副会長は「今年も糖度の高いできのよい物ができた。皆さんにぜひ食べてほしい」と話していました。たまたまは3月中旬まで出荷が見込まれています。



JAはまゆう管内では今季、約470トンの収穫量が見込まれています

25 金谷小児童が  
牛の餌やり・  
乳搾りを体験



上手に子牛にミルクを飲ませる児童

金谷小学校は、大東地区にある清水宏二さんが経営する清水牧場で牛の餌やりや乳搾りを体験する「モーモーミルク教室」を行いました。食に関心をもってもらう給食感謝週間の一環で全校児童が参加。講師は清水さんや串間酪農業協同組合青年部のメンバーらが務めました。餌やりは1、2年生が挑戦。子牛にミルクを飲ませたり、成牛に干し草を与えたりし、最初は怖がりながらも徐々に慣れていき、うまく餌を与えていました。乳搾り体験は3～6年生が挑戦。初めは指の動かし方や力加減のコツがつかめないう様子でしたが、次第にうまくなっていき、夢中になって乳を搾っていました。6年生の原口彩美さんは「初めて乳搾りを体験できていい思い出になった。これからはたくさん牛乳を飲みたい」と笑顔で話していました。

6 福島高生が高齢者と交流

誰もが過ごしやすいまちに向けて、高齢者などへの理解を深めようと、福島高校2年生の探究クラスは「にこにこイベント」を市中央公民館で行いました。地域の活性化策を研究する地域創生学の一環で、生徒と市内の高齢者計約20人が参加。後出しじゃんけんでわざと負けるゲームや、ホワイトボードを水平にしてお手玉を交互に載せてバランスを競うゲーム、色画用紙と模造紙を使って「新春」「節分」などをテーマにした作品を完成させる工作を行い、交流を深めていました。参加した清水よし子さんは「若い子たちと交流できてとても楽しかった」と笑顔。生徒の今江美優さんは「高齢者との接し方を学ぶよい機会となった」と話していました。



生徒たちは積極的にコミュニケーションを取っていました

15 市内の児童・生徒が串間への思いを発表



発表は、串間の豊かな自然を残していくための提案や大人に向けての目標などもありました

市内の児童・生徒が将来の夢や串間への思いなどを語る「串間市青少年の声を聞く会」が市文化会館で行われました。小中高生の計18人が発表。小学生の部は北方小学校6年生の隈田原心桜さん、中高生の部は福島高校1年生の瀬治山真さんが優秀賞に輝きました。隈田原さんは、串間の人口減少の原因の一つは若者の市外流出であると説明し、若者が働きやすい環境整備に加えて、「SNSで串間の魅力を積極的にPRするべき」と提案。瀬治山さんは、幼少期から自治会の班が行う清掃活動などに家族で参加していることを紹介。地域と普段からつながりを持つことが災害時などでの助け合いにつながると話し、「周囲にも広がってほしい」と訴えていました。

17 秋山小児童が視覚障害を体験

秋山小学校は視覚障害に関する福祉体験学習を行いました。総合的な学習の一環で3年生3人が参加。市社会福祉協議会の職員が講師を務め、初めに点字の歴史や視覚障がい者が周囲に助けを求めるサイン「白杖SOSシグナル」などを説明。その後、児童は2人1組でのアイマスクを着けた歩行や、点字一覧表を見ながら自分の名前などを点字器と点筆を使って用紙に打ち込む作業を行い、視覚障害への理解を深めていました。山崎大輔くんは「目が見えないことの大変さが分かった。これから、困っている人がいたら積極的に声を掛けて助けたい」と話していました。



アイマスクを着けて階段を歩き視覚障害を体験する児童